

全体会午後部Ⅱ

司会者(i・a) それではただ今より、全体会午後部Ⅱを行いたいと思います。

午後部Ⅱの司会を担当させていただきます板野中学校3年i, 八万中学校3年aです。よろしくお願いします。

後半は2本の意見発表があります。まずは後半1本目の意見発表です。松茂中学校2年yさん「SNSで人を助ける」です。よろしくお願いします。

「SNSで人を助ける」

松茂中学校 2年 y

みなさんは、SNSに関する問題についてどう考えていますか。インターネットが使える便利な世の中になったからこそ、このような問題が増えてきているのだと思います。最近、匿名で芸能人に誹謗中傷をするというのがよくニュースで流れてきています。顔や名前が分からないことを良いことに相手が傷つくような言葉を平気で言っています。そのような人たちが原因で、自ら命を絶った人がたくさんいるということを誹謗中傷した人たちは、どのように思っているのでしょうか。

実際に私の周りでも、名前を出さずにSNSで悪口を書き込んでいるのを見たことがありました。ですが、私は注意することができず、見て見ぬふりをしてしまいました。ニュースで流れているようなSNSに関する問題に直面したことがある人の中には、私のように知っていても何もできなかった人、自分に関係ないと、見て見ぬふりをした人などたくさんいると思います。ですが、その行動は一緒に誹謗中傷をしたということになってしまいます。だから、私は誹謗中傷をされ、苦しんでいる人を助けようとする人は本当に優しい人なんだと感じました。

最近の若い人は、心が傷つきやすいと聞き

ました。若い人がよくSNSのトラブルがきっかけで自らの命を絶ってしまう原因の1つはそれなんだと思いました。苦しんでいる人に声をかけ助けてくれた人は命の恩人なのかもしれないと私は気づくことができました。今、自分を振り返ってみると、私は苦しんでいる人に何もしてあげられませんでした。私は目の前で苦しんでいる人を助けられない、そんな人間なんだと自分自身に腹が立ちました。



これからは、自分がSNSに関する問題に直面することは、ないとは言いきれません。SNSを使っている以上、もしかしたら自分がターゲットになるかもしれません。また、悪口を言われている人を見るかもしれません。そんな時、私が苦しんでいる人の助けになれるかも分かりませんが、もう二度と同じような目に遭わないよう、このSNSに関する問題を自分ごとだと捉え、苦しんでいる人を助けたいと思います。そして、もし自分も誹謗中傷のようなことをされたときは、「自分はダメな人間なんだ」「死んだ方がマシだ」と思わない強い心をもてる人になりたいです。

また、そういった書き込みを見つけたときも、友達や先生、周りの大人の人へ相談できる勇気を持ちたいです。一人で抱え込むとすぐ不安も大きくなります。周りの人を頼って解決策を探していきたいと思います。一人では困難なことを周りの人と協力して苦しんでいる人が一人でも減るように動いていきたいです。

ご清聴ありがとうございました。

司会者(a) ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。

続いて後半2本目の意見発表です。八万中学校3年1さん「表現の力」です。よろしくお願いします。

「表現の力」

八万中学校 3年 1

私は最近、「表現の力は物凄く^{ものすご}素敵なものがあると同時に、恐ろしい凶器だ」と思うことが増えました。理由は2つあります。

1つ目は、人権集会等に参加したり、本を読んだり、いろいろな作品を見たり聞いたりして、「こういった表現が、伝える力が、素敵な言葉があるんだ。」と思うようになったからです。2つ目は、SNS等での誹謗中傷による事件や、私が友達に対し善意で行った行動や発言が、その友達を傷つけてしまっていた経験で、「表現には責任がついてくるし、考えて発言しなければ誰かを傷つけてしまう。」と思ったからです。



私は少し前まで、自分の行動で誰かを傷つけてしまう可能性があることを、何故私はしたいと思ってしまうんだろう、何故表現する人がいるんだろう、とっていました。ですが、ある時にその考えは一変しました。それは、私が児童精神科病院に入院した時でした。その病院ではいろんな経験をしましたが、な

かでも私の考えを変えてくれたのは、そこでできた2人の友達でした。

1人目の子は、中学1年生で不登校の女の子でした。その子は、うつ病と不安障がい^{ひど}で入院していて、私にいろいろな話を聞かせてくれました。うつ病で学校で話せなくなってしまって、いじめられて不登校になったこと。そのまま家でいるうちにうつ病が酷くなり、不安障がいも同時に起きて、家で暴れ、入院させられてしまったこと。

私は、その子に対して何もできないのかと悩みました。凄く辛そうな子を、入院先で少し笑わせてあげることしか私にはできないんだと、そう思っていました。そういった考えを、2人目の子が塗り替えてくれました。

2人目の子は、高校1年生の男の子で、入院中はちょうど受験期と被っていたと思います。バスケや卓球などの球技が凄く上手な子でした。彼は、ADHDという障がいを持っていて、片づけができなかったり落ち着きがなかったりで、学校に馴染めず、いじめを受けて入院したと言っていました。

私は、1人目の女の子のことを彼に話しました。私に何がしてあげられるのか、どうしたら良いか、等、今思えば相談してもしょうがないことを言ったと思います。すると彼は、「じゃあ、その子ともっと話してみなよ。何かできることがあるかもしれんやろ？勝手に諦めるなよ。」と言いました。私は、そう言われるまで、「他人の悩みなんか自分勝手に聞いちゃいけない。」とっていました。実際、仲良くもない人にいきなり聞くのは失礼だと思います。でも友達で、辛いことも分かち合えるはずの人に対して、失礼だと理由をつけて勝手に諦めるのは良くないと気づかされたのです。

私は、「自分の表現で誰かを傷つけてしまうかもしれないのに、何故表現したいのかがわからなかった自分」から、「友達の為とか、好きな物の為とか、自分の大事なものの為に表

現することを、発言することを、躊躇^{ためら}ってはいられない自分」に変わった気がしました。そして、このことに気づいた次の日、その女の子と男の子の3人で話し合いました。そこで聞いたのは、2人が受けていたいじめの内容や、退院したらどうしたいか、また、ここに入院している人の入院した理由のほとんどが、いじめや病気や障がいによるものであるということでした。私はその話を聞いた時、「そんな子達を助けて。障がいや病気で苦しめるのに、いじめられて余計に傷つけられるようなことは絶対に間違ってる。」と思いました。だから私は2人に、退院したらしたいこととして、「障がい者とか病気の人へのいじめを何とかしたい。」と伝えました。

1ヶ月後、私は退院しました。前とは違って私も元気になって、二人との約束を行動に移しました。伸ばしていた髪の毛を全部切って、寄付をしたのです。私は、5年程前からヘアドネーションという企画に参加していて、がんの治療や脱毛症などで髪の毛が抜けてしまった人に対して、人毛のカツラを無償でプレゼントしてきました。今までに2回の寄付をしましたが、どのカツラも髪の毛の長さが15cm以上は必要で、伸ばすのに時間がかかります。ですが、ちょうど入院中に伸びた髪が20cmを越していたので、彼らとの約束の第一歩として髪を切ったのです。

私は入院時の経験から「表現に躊躇いは必要ない。必要なのは表現力と、表現して相手にどう伝わるかを考える力。それから表現しようと思う意思。」だということを学びました。「表現」をすると、他人に自分の考えを伝えられる。そうすると、他人からの意見をもらうこともできる。自分の考えが正解であれ不正解であれ、意見をもらうことができる。意見をもらうということは、他人を少し知れるということ。他人が何を考え、どう思い、どう「表現」しているのかということを知れるということ。私にとって「表現」というのは、

そういうものだと思えるようになりました。

それともう一つ。その上で私は、「笑顔」を忘れないでいようと思いました。心を表現するのは難しいし、他人を傷つけてしまうことも少なからずあるし、恐ろしいのも当然だと今でも思います。でも「笑顔」は、発言する訳ではないので人を傷つけづらいし、自分の好意を簡単に伝えることができます。

昔の私のように、「表現」するのが怖い人、「表現」が得意ではない人、それでも「表現」したい人。そんな人は、一度深呼吸をして、今自分ができることや、やりたいこと、言いたいこと、そういったことをゆっくり考えて、そして最後にニコッと「笑顔」になってみませんか。思うように伝えられなくても、「表現」したい思いが相手に伝わると、話し合う勇気が出てくるはずだから。

ご清聴ありがとうございました。

司会者(i) ありがとうございました。どうぞ元の席に戻ってください。

それではこれから、意見発表を通しての討議にうつりたいと思います。発表についての感想や意見交換、参会者のみなさんの思いを語っていただければと思います。また、前半で発言しきれてない人や、付け加えるような内容のある人は、これが最後のチャンスとなりますので、ぜひ発表してください。

なお記録の関係上、発表者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくお願いします。

松茂中学校1年 r 1さんの発表を聞いて、まず、その入院している時に、2人の人と約束をしていて、そのことを退院した後、行動に移せたことは本当にすごいことだと思います。約束していても、なかなかそれを行動に移せなかったり、そういう時がボクはあります。それでもちゃんと約束を行

動できたのはすごいと思います。



あと、発表以外のことで、昨日ボクの見解について(1さんが)誉めてくれたんですが、この人権作文を書くのを誘ってくれたのが、1さんなので、多分誘ってくれなかったら、ボクはここで発表することはなかったし、ここまで、今の自分まで成長することはなかったなので、感謝しています。ありがとうございました。



松茂中学校 2年 v 表現の話が出たんですけど、これもボクの体験談になるんですけど。夏休みに入る1ヶ月くらい前に、めちゃめちゃ怒られたんですよ。先生に。何でかって言ったら、掃除の時間なんですけど、トイレでちょっと手伝ってって言われたんで行ったわけですよ。教室掃除だったんですけど、行ったわけですよ。その時、先生に軽めに「教室せんのやったらそこでおっついていいよ」って言われて、「わかった。そうなんだ」と思って、そこで掃除してたんで

すよ。ずっと。

そしたら掃除が終わった時に「まだなんているんだ」みたいなこと言われて、「いや、先生がおれって言ったじゃないですか」って言ったら、なんか急に怒り出して、「はあ？」って思ったんですけど、先生曰く、「自分がそこにおれよって言ったら、すみませんって言って帰れよ」って言うんですよ。でも、「おっついていいって言ったやん」って思ったんですけど、まあ、「はい」って言ってその時は帰ったんですけど。

そういう表現をした先生のことについて「はあ？」ってめっちゃ思ったんですけど、その時、何が言いたかったんかなってよく考えなかったボクにも、ちょっと非があるんじゃないかなと思いました。で、本当は何が言いたいのかっていうのを、よく考えて受け取ろうかなと、その日を境に思いました。これで終わります。



大麻中学校 3年 u これは感想なんですけど。「表現の力」の作文で、今、この時期でマスクをしているので、表情が見えなかったりするじゃないですか。相手が何を言っているかとか、マスクをつける時期の前は、口の動きで相手が何を発しているのかっていうことを見ていたんです。

この時期で、マスクをつけているので、相手が何を言っているのか聞き取りにくくなってしまって、相手がしゃべったことについて何回も聞いてしまったりすることが

あつて。表情とか、相手が何を言っているのかっていうことを顔だけじゃなくて、雰囲気も聞こうと思いました。



三豊市あゆみ会代表 z 私は、香川県の三豊市、香川県の西の方になるんですけど、そこで、今日こういう服を着ているんですけど、「NPO法人Peace」という組織をつくって、今日何人か一緒に来ているんですけど。その活動の一つに「人権塾あゆみ会」というのを立ち上げて、今、25人くらいの大人が月に1回集まった人たちの人権感覚を高めようというようなことを始めて、1年とちょっとが経ちました。

今、私が立ち上がったのは、さっき八万中学校の1さんがですね、「表現にためらいはいらない。言えば必ず意見がもらえる。そこでまた自分が考えるのが大事だ」という様なことを作文発表で話してくれました。

まさにですね、ここの「人権を語り合う中学生交流集会+22」の趣旨そのものが出た発言だったと、私は思っています。

私はそれこそ、松茂中学校の森口先生、八万中学校の吉成先生が、さっきもチラッと話が出てましたけど、1990年くらいに板野中学校においでた頃から縁あつて、交流をさせてもらってるんです。その頃からのコンセプトが、今、1さんが言われたことそのもので。

実は1回目の中学生集会の時に、私も元々は中学校の教師だったんですが、豊中中

学校というところの生徒を連れてこの交流会に来て、いろいろ交流させてもらいました。そしたら、すごいですね。本当に忌憚のない意見がたくさん出てきて。また、それに会場みんなが返していく。すると知らない同士ですが心が一つになるんですね。温かくなるんですね。だから、まさに「表現にためらいはいらない」だと思います。言ったら返してくれるから、それでまた、自分がそこで考えて自分自身も高まっていく。それが新たな表現活動になる。1990年頃のベースがずーっと続いて今に至っているのがすごいなど。



私たちも、自分たちだけの人権感覚を高めていても仕方ないなど。いつまでも、ここ徳島の会に来て、今日もたくさん来ているんですけど、前に2人発言しましたが、三豊市の高瀬中学校からも生徒2人来ています。本当はもっと来る予定でしたが、香川県は今中学校の総体の真っ最中なんです。来たい子はたくさんいたんですが、今日はたった2人だけの参加になっています。来た2人がさっき意見を言っていて、「うわっ、すごいな」と思って。今から三豊市の核になる2人だと思っているんですけど。いらないことを言うなど思っているかもしれませんが。それで、自分たちの感覚を高めるためだけでなく、三豊市と隣に観音寺市というのがありますが、まずはその中学生を集めて、初めてになるんですけど、徳

島に頼るばかりではなくて、我々の地域で語る会をやる。これが9月4日日曜日です。来て下さいと言いたいんですけど、コロナでしょ。だから、どんどん来て下さい、待ち受けてますとは言いつらいんですね。だから、ちょっとコロナが収まって、みなさんは20年もの積み重ねの中で、充実した会をしているんですが、私たちもどうなるかわからないので、自信を持って来て下さいとは言えないんですが、多分来年くらいは来て下さいと言えそうな環境になると思います。

そこで、表現にためらいはいらない。言えば返してくれる。返してくれることをもとにまた我々が考えていく。自分自身が高まっていく。またそれでつながっていくという、ここにつながる会を、今、香川県でも芽吹こうとしているんだと。あなたたちがきっかけで、私たちが動こうと思ったんです。だから、それこそ今言われたことを第一にして、もう充分頑張っているんですけど、この後も意見交換が続けばいいなと思っています。ありがとうございます。

八万中学校3年 | ボク以外に誰かいませんかね。話したいことが何個かあるんですけど。

発表した直後に言うのもなんですけど、あの作品結構書き足りてなくて、吉成先生に「あきらめきれません」って言いに行っただんです、ボク。「作品を、もうこれ無限に書けるぞ」と思って。ちょっと待ってちょっと待ってと思って。「何とかしたいのでアドバイスください」と言って出しに行ったら、「まあ、いいんちゃう」みたいな感じで今の形になって、提出させていただいて、発表させていただいた感じなんですけど。何個か付け足したい部分とか、「わかりにくくね、これ」って読みながら思った部分があるので、何個か言わせていただきたくて。

笑顔の力がどうこうっていう話があったじゃないですか。ここに心理学に精通^{せいっとう}されている方とかいませんよね。適当に言ってしまうと反感を食らいそうで怖いんですけど。どこかの本で確か読んだんですけど、「表情から感情が来るんじゃないか」みたいな理論というか情報があるらしくて。他人に情報発信させる笑顔もあれば、自己啓発^{けいはつ}をする笑顔もあるんじゃないかとボクは思っています。特にボクはその意味あいを使っているんです。



笑顔は、作品の中だったら、「強制させるような笑顔」の使い方でしたけど、そうじゃなくて、「自分のためにも使えるんやで」というのも書きたかったなあっていうのと。

あと、この会があるじゃないですか。この会が、特にテーマというか、発言をためらってはいけないみたいな、ためらってしまうんじゃないぞ、みたいなのをさっきも言ってくださったじゃないですか。それはボクはすごい思っています。会のことを思って言ったじゃないですけど、昔からその考えがあって。入院してた時からあって。その考えとこの形がほぼ同一というか、めっちゃマッチしているんですよ。ほぼ同一と言っていいくらい。考え方というか伝え方が。なので、それを調べたいなと思って、ああいう表現をさせて頂いたので。ためらってしまうことは、^{さくちゆう}作中でも言っていると

思っているんですけど、駄目じゃない。けど、ここの形としてやってみてほしい。で、怖かったら笑ってみろという意味で書かせてもらったので、すみません。わかりづらくて。書き足りなかったんです。ごめんなさい。すみません、ありがとうございました。



板野中学校 2年 g またまた板野中学校のgなんですけど、今の発表とか全然関係ないんですけど、今の雰囲気がいいなあって思ったので、言いたくなって手を挙げました。

今、ボクのいる板野中学校では、「人の話を、目・耳・心で聴く」というのを、ある1人の先生がめっちゃめっちゃ言っているんですけど、それがたぶん、他の学校ではあまり言われなと思うんですけど、それができているっていうのがすごくいいなあって思って。みんなその発表している人の目を真直ぐ見て、心から聞いてる感じのある人がめっちゃいて、見てて、聞いてて、すごいいいなあって思うんです。

適当にダラーッとしながら見るんじゃなくて、その人の意見を聞いて、自分に取り入れている感じがすごい雰囲気から伝わってきて。こういう人権で発表できる、こちらの発表している側とかも、たまにうなずいてくれる子とかいると、すごい発表しやすくて、この雰囲気をいろんな学校とか、お家とか、大人のいる社会とかに広がって

いったら、すごい生きやすい世界になるんだろうなあって思いました。



土庄中学校 3年 n 私は、yさんのSNSの作文を聞いて、なんか似たようになっていうか、もしかしたら全然似てないかもしれないんですけど、っていうエピソードがあって。

それが、私もスマホを持っていて、インスタとかよくやっているんです。あまり投稿とかはしてないんですけど、ほとんど見たりとか、ストーリーにあげたりとか、そんなのばかりなんですけど、その投稿とかも結構して、すごいインスタの活動が活発な人がいるんですよ。友達に。

その子は、^{ひぼうちゅうしょう}誹謗中傷とかじゃないんですけど、何人かいるんです。そういう子が。全然誹謗中傷とかはしてないと思うんですけど、結構インスタに制服で写った写真とかを普通にあげている子が何人かいて、私はそれを見てダメなんじゃないかなって結構思ったりはしているんですよ。本とかにも制服の写真とかのせて、それで個人を特定されて、追いつめられるっていうか、そういう話を read したことがあって、やめた方がいいんじゃないかなって思ったことが何回もあったんですけど、それを本人には言いつらいじゃないですか。言いにくい面もあるし、それをあげるのは個人の勝手だから、他人があまり突っ込むことじゃないと思うんですけど、さっきのyさんの発表を聞いて、もしそういうことがあったら、ち

よっと注意とか、やめた方がいいんじゃないとか、言ってみようかなと思いました。ありがとうございました。



板野中学校 3年 t さっき、笑顔の話が出て、自分の中で笑顔がどういうものか少し考えてみたんですよ。私の中の笑顔って、何て言ったらいいのかな。困った時に出せばいいお面^{めん}みたいなお感覚で今まで使ってたんですけど、今日の話聞いてみて、自分での笑顔の使い方を「少し違うな」って感じたので、これからは少しでもいいので、1さんが言っていたような笑顔の使い方に、笑顔を変えていけるように心がけていきたいなと思いました。

松茂中学校 2年 v 何回もすみません。さっき怒られたって話したんですけど、ちょっとまだ続きがあるんですけど。まあ、さすがに「ちょっとなあ」っていうことをしたんですけど。

生活ノートを書いているんですよ。松中生は。それにその日のこととか書くんですけど、それにその先生とのことを嫌みじゃないですけど、書いてしまいました。文字って強弱がないから、読み手にとって受け取り方とかが変わるんですよ。ボクは書いた文をあまり覚えていないんですけど、まあまあ嫌みなことだったんですよ。それを朝出して、違う担任の先生についていうか、怒られた先生が担任じゃなかったの、担

任の先生に出したんですけど、コメントが返ってきて。「イラついてるんですか」って返って来て。「まあ、イラついてますねえ」って返したんですけど、次の日はそんなにイライラしてなかったんですけど、こういうことを思いましたっていうことを嫌みじゃなくて書いたんですよ。そしたらたまたま同じ先生で、また「イラついているんですか」って返って来て。「いや、別にそんなにイラついてないよ」と思ったんですけど。

こういうのって、こういうしゃべっている時って、強く言ったり弱く言ったりして感情が読み取れるじゃないですか。でも、文字にしたら、文字を送られてきた側からしたら、「今日のご飯^{おい}美味しくない？」と送ったと思っても、相手からしたら「今日のご飯美味しくない！」ってとられたり、「ああっ」っていうことがあるので、文字でとか、自分から直接言うんじゃないくて文字に置き換えて言う時は、相手がどうやって受けているのかなということを気をつけて話そうと思いました。



あともう一個あるんですけど、次は表現の方なんですけど。表現の仕方を変えたら、同じ意味でも発言してくれたりしてくれなかったりというのがあるんですよ。何でかって言ったら、例で言ったら、ケガした時に、明らかに苦しそうというか、人に「大丈夫？」と言うとするじゃないですか。そしたら、だいたいの人が、「ああ、大丈夫で

す」って言うらしいんですよ。でも、「どうかされましたか？」って聞いたら、あれこれこうでとか言ってくれるらしいんですよ。なので、どういう表現の仕方が適切なのかなとか、そういうのをいろいろ考えて生活しておかなきゃなというのを、今日の作文を聞いて思いました。これで終わります。

司会者(a) ありがとうございます。

吉成先生、手を挙げていましたね、さっき。言いたいんじゃないですか？



八万中学校教員 吉成 せっかく隠れたのに。SNSの話が出たりとか、笑顔の話が出たりとか、表現の話が出たりとか、いろんな意見が出て面白いなと思うんですけど。みんなにこのあと聞きたいことがあって。それは何かっていったら、「みんなにとっての幸せって何ですか」というのをちょっと聞きたいんです。

考えて答えてくれると嬉しいと思うんですけど。SNSの話とか、表現をするっていうことについてとか、笑顔の話とか、それとか午後の部Iで発表してくれた意見作文の内容であるとか、また午前中にシンジくんが話をしてくれたこととか、部落差別のこととか、そういうことをずっと考えていった時に、なんかね、幸せやなって思うんですよ。この場にいることが幸せやなって私は思うんです。

休憩の時間が昼休みにあったりとか、さ

っきの10分休憩あったりした時に、うちの八万中学校の2人は置いておいても、やっぱり学校が違っていたら距離があるでしょ、普通。けど、休みの時間があるたびにその距離がどこか近くなった気がするんです。その、距離が近くなる感覚がすごくいいんです。幸せやなって思えるんですが、幸せってというのは人それぞれ違うかもしれないから、みんなにとっての幸せって何なのかなって教えてほしいなって思いました。問題提起です。お願いします。

三重県教員 a d 難しい問題が出たなと思って、しょうもない話をしますその間に考えておいてください。

私はお風呂に入るのが好きで、近所にすごい温泉があって、大きな5mくらいある露天風呂があるんです。そこにつかりに行くのが好きで、そこに入りに行ったんですね。そしたら、そこに2人の若い男の人がもちろんお風呂ですからすっぽんぽんで、何か怪しい動きをしているんです。よく見ると何か探しているんです。「ああ、何か探しているなあ」と思って、私は楽しみにしていた風呂桶にちゃぽんとかつかって、「ああ、気持ちいい」と思っていて、ちらっと見るとまだ探しているんです。「何か聞かないといけない」と思って、「何か探しているんですか？」って言ったら、「連れが、ここの腕にはめていたロッカーのキーを、フワーツと手を伸ばしたらどこかへ飛ばしてしまっただんですわ」「ああ、そうですか。それは気の毒ですね」と言って、「暗いところで探してもわからんから、店の人に言って懐中電灯を持ってきてもらったかどうか」とって、お風呂につかった状態で言っているんですね。「これはこのままじゃ見つからんぞ」と思って、出て一緒に探すんですね。結局見つかって事なきを得るんですけど、あとで、「ロッカーのカギなかったらあ

の2人どうするんだろうな」とか、くだらないことを考えているんですね。「パンツは替えを持っているからこれを使うか」とかしょうもないことを考えていたんですね。



ずうーっと後で考えてこのことを振り返った時にね、人権のことに取り組んだり、差別なくしていかないかんといろんなところでいろんなことを言っていた自分とどうだったのかなと思った時に、こうやって湯船につかってああせえ、こうせえと言っている自分と、そこから出て、「ああ寒」と思いつつ一緒に探している自分と、どっちの自分がいいんやろなと思った時に、湯船につかっている自分よりも、一緒に探している自分の方がええやんて思えたんです。そういうちょっとした発想の違いで、良い自分になっていけると違うかなと思って。行動する？表現する仕方っていうのは、いろいろあるんじゃないかなと思った話ですけども。

もう一個よく似た話があって、お酒飲むのが好きなんです。飲んで駅から歩いて帰れるところなので、電車に乗って帰るんです。最終電車に乗ってよく見る光景なんですけど、ふっと横を見るとですね、ベンチシートにいびきをかいて気持ちよさそうに寝ている同年代の人がいるんです。もしかすると、この人自分と同じ駅で降りると違うかなと思いつつ、席を立ててちらっと見るとまだ寝ているんです。「どうしようかな、

もしこのまま寝過ごしたらこれ最終で、この人帰って来られなくなるな。どうしようかな、どうしようかな」と思って、「もしもし、ここ〇〇駅ですけど」と言いかけた途端にガバッと起きて、キョロキョロとしたと思ったらピューッと飛び出して行っただけです。カバンがまだそこに置いてあるんです。「すみません、カバン置いてありますよ」と言ってカバンを取りに行ったらドアが閉まったら終わりでしょう。それで私は足でドアを抑えながら、今度は自分が閉められないようにパッと飛び降りて、2人で階段を下りて行った時に会話が生まれるんですね。「良かったですね」「いや、私も前にやったことがあるんですよ」とか言いながら、赤の他人なんですけど、何か同じ同僚の人としゃべっている気分になったことが、まあ、しいて言えば幸せだったかなと。突然の出会いで人とつながった感じがいいなあと思った次第なんですけど。みなさん考えましたか？ではよろしくお願いします。

パネリスト 午前中話をさせて頂きましたシンジです。中学生のみんなの時間を取ってしまうようで申し訳ないんですが、自分にとっての幸せっていうのが、ここに来た瞬間にありまして、さっきも食事中とか、まあまあな思いをしながら娘を連れて来たわけですけども、その娘のところに来て、ボクじゃなく娘に話をしてくれたんです。すごく嬉しくて、連れてきてよかったなと思いました。

その時に娘の言った一言が「お姉ちゃん欲しいなあ」と言いました。実現するわけではないですけど、そういった気持ちになって、本当なら午前中で帰って昼からプールでもしようかなと思ってはいたんですが、娘も最後までおりたいということを自分から言ってくれて、すごく幸せな気持ちになっています。

こういう瞬間が自分も幸せだし、娘も今日来てよかったんじゃないかなと思っています。娘の声を代弁して言ったつもりなんですけど。



あともう1点。さっきの電車を降りて話すきっかけができた幸せ。ボクもお酒を飲むことが好きで。10年ほど前なんですけど、飲んでいて、隣の席にいるお兄ちゃんに、たまたま「一緒に飲みましょうよ」と軽いノリで話をしたのがきっかけで、それは名古屋の人なんですけど、その当時普通に話しかけただけなのに、10年間ずっとつながっているって。ボクも、自分の立場を部落出身であるということも語って、その子も必死に考えるようになって、2日くらい前も連絡取り合いながら、ちょっとコミュニケーションをとったりして。その子はいまだに、「シンジがしんどい思いをしているのは嫌だ」というようなことを言ったりするんです。

ほんのちょっとのきっかけで何が生まれるかわからない。何を大事にするかは自分のさじ加減一つなんですけど、その一瞬一瞬でその子も、信用することも、すごく大事なのかなと思ったりするから、ちょっとやそっとの嫌なことがあるかもわからんけど、可能性っていうのはいろいろあると思うので、つながり方を自分で見つけ出してほしいなと思いました。今日は幸せな時間をありがとうございました。

八万中学校3年 | 幸せに感じるってことって、いうことでちょっと考えたんですけど、yさんでしたね。作文でSNSの話をして。ボクも不登校の時期に結構SNSで友達ができたりして、そういえばそんなことがあったなあと思って。そういえばっていう。



今はないじゃないですけど、今は当たり前になっちゃって、そういえばっていうくらいになっちゃったんですけど。ボク、結構SNSで活動してて、めっちゃすごい親友ができたんです。めちゃうくちゃ信頼できて優しいし、面と向かって話していないのに信頼できるって言うのもおかしいですけど。何を思ったか知らないんですけど、気持ち悪い言い方をすれば運命ってあるじゃないですか。なんて言うんですかね。活動していたので、チームをつくったりとか運営をしていたので、結構やっていたんです。それをやっている時に、運営仕事って生徒会とか部活とかやってみるとわかると思うんですけど、^{うよきよくせつ}紆余曲折めっちゃうあるじゃないですか。嫌なことめっちゃうあるし、めっちゃ面白いこといっぱいあるしみたいなこと。その段差の中で、リアルっていうか、この現実でも、学校に行けてないような中で支えてくれる人っていうのが今もいてくれるので、1年半前なんですけど、紆余曲折が好きなんです。難しいこととかめっちゃう楽しいこととか、すごい嫌なこととか、その繰り返しが幸せなんだと思うんです。

友達もそうですし、居場所もそうですし。一番は行動して手に取ったものが何だったとしても、なんて言うんですかね、急にじゃじゃ馬に乗せられた気分で走り出したとしても、結局最後に降りれたら楽しいじゃないですか。「ケガせんかって良かった！」そんな感じで紆余曲折がボクにとって一番の幸せだと思います。



瀬戸中学校 3年 e ボクは、学校とか休日に遊んだりすることが幸せやなと思ってたんですけど、最近、「今幸せやな」と思うことがあって。

最近誕生日だって、親に「誕生日プレゼントに何か欲しいものがあったら言ってな」みたいなことを言われて。欲しいものがなかったんです。それはよくよく考えてみたら、今の自分の環境に満足していることやなと思って。親に今の環境にいることに感謝しとるけん、今とても幸せやなと思いました。

松茂中学校 1年 r ボクが言いたいことは2つあって、1つ目はyさんが言っていた「SNSで人を助ける」という題名が、ボクは好きになって。SNSっていろいろ動画を発信したり、1つのツールっていうのはわかっているんですけど。よく考えてみたら、そこで、SNSを使って炎上する人だっていて、それで他の人から傷つけられるっていうこともあるんですけど、そのSNSを使って人を

助けるっていうことがすごいなと思いました。



2つ目は、自分が幸せって言えるのは、まず、この場所にいることと、親がいてくれることだとボクは思います。この場所に居られることは、こうやって自由に発言できるのは嬉しいことです。家族はいつまでもずっといるわけじゃないけど、今の状況で自分に満足しているというか、今でもとても幸せなので、親がいてくれることが嬉しいなと思いました。ありがとうございました。

板野中学校 2年 g いっぱい発表させてもらって嬉しいですね。これも一つの幸せでしょうか。まあ、そういうことは置いておいて、ああ、今のウケてほしかった。

ボク、人の前で発表するのが実はすごい大好きなんですよ。自分を周りの人に知ってもらえるというか、自分を好きになってもらえる大チャンスじゃないですか。

ボク、すごい自分が好きなんですよね。本題に入ると、ボクが幸せを感じる時は、毎朝起きて鏡の前に立つんです。歯磨きする時とか、髪の毛セットする時とか、そういう時に気持ち悪がられたらちょっとあれなんですけど、鏡に向かって「今日もめっちゃ可愛いな！」って自分に向かって言うんですよ。満面の笑みで。気持ち悪いでしょ。(明るく笑いながら)髪の毛とかきれい

にっている時とか、「今日、めっちゃきれいやな。髪!!」とか、「今日最高やん!!」とか言っていくと、鏡の中の自分がボクに言ってくれてるみたいで、なんかすごい自分が大好きになれるんですよ。それって、毎日毎日言って、毎日毎日自分のことがちょっとずつちょっとずつ好きになっていって、今、すごい自分が大好きなんですよ。それって毎朝感じる自分への行為がすごい幸せなんです。ボク。だから、ボク、朝起きる時、鏡に行くのがすごい楽しみです。

八万中学校教員 吉成 それ、どうやって編み出したん？



板野中学校2年 g 元々自分が大嫌いだったんですよ、ボク。それで自分を好きになろうと思って、自分の好きなところを100個ノートに書いたら自分が好きになれるみたいなことを書いてあったのとか、ある時ネタで、クラスメートとかに「ボク、かわいいやろ？」って言っていた時に、ちょっと自分をなぐさ慰められたような気がして嬉しかったんですよ。で、ナルシストキャラになろうと思っていくうちに、本当に自分が好きになって、こんなふうに毎日自分で鏡に向かって、「かわいいな」って言っている感じですよ。

八万中学校教員 吉成 勉強になりました。

八万中学校3年 a ごめんなさい。言っているんですか。さっき言ってくれたようなノリで言いたいと思うんですけど。



私が、幸せっていうか嬉しいなって感じる瞬間があって。それが学校に行って、友達と会うのはもちろんなんですけど、吉成先生とか1くんは知っとると思うんですけど、T先生っていうすごいカッコいい先生がいるんですよ。50代とか、そこらへんですけど。めっちゃ足が長いんですよ。スタイルが良くて、めっちゃ声が良くて優しいんですよ。その先生に教えてもらうのを楽しみに、毎日学校に行くんですよ。ファンみたいな感じで行ってて、T先生が推しみたいな感じなんです。で、めっちゃイケメンなんです。みんなに写真バラまきたいくらいめっちゃイケメンなんです。

それとあと、私の部活にめっちゃ可愛い子がいて。見た目もちろん可愛いなんですけど、性格がめっちゃ可愛いんですよ。あと、手の動きがちょっとT先生と似とるんですよ。その可愛い仕草を見るために学校に行ってて、クラスメートと話せた瞬間が幸せだと感じるの、今、夏休みに入ってちょっと友達とかと会えていないし、T先生とも会えていないので、夏休み明けを楽しみに、夏休みを過ごしたいと思いました。

松茂中学校1年 ac さっきまでの幸せとか、そういう話とはちょっとそれるんです

けど。



1さんが表現のことについて作文で言っていたんですけど。人間は、みんな表現の自由が認められるものであって、それは誰も否定してはいけなと、ボクは思っているんですよ。でも、そのことが原因で、まさにSNSとか、そういうことの、すれ違いとかの原因にもなって。やっぱり表現の自由があるからこそ、人は人のために動けるし、社会も成り立っているんですよ。その表現の自由で、幸せのことについて話を戻したいんですけど。ボクが思うに、幸せっていうのは、自分の意見を人と認め合って尊重し合う時間なんですよ。自分の意見が人に認められて、それでいて、また自分にとってもいい環境、相手にとってもいい環境がつかれるっていうのが、一番の幸せだとボクは思っています。だから、まさにここ。ここが、ボクにとって幸せをつくる場所なんです。だから、もっとそういう場所が増えていけばいいなと思います。これで終わります。

司会者(i) ありがとうございます。最後の1人になるんですけど、誰かいきたい人。2人手が挙がっています。この2人でいきます。

大麻中学校2年 b 吉成先生が、「あなたにとっての幸せはなんですか？」って聞いた

と思うんですけど。人権に関することなのかわからないですけど、私の幸せは、距離感とかを感じずに、遠くても近くても自分にとっての大切な人が幸せだったら、私も幸せになるっていう。相手がそうだったら私もそうっていうような気持ちになるのが私の一番の幸せだと思います。以上です。



松茂中学校1年 r ちょっとまとめた感じで話しますけど。今日の人権を語り合う会の本番で、まず、シンジさんから部落差別のことを学んで、これまで知らなかった現状や、これからについて話してくれて、自分もまたそれについて頑張っていこうと思えるようになりました。



それで次に、今みたいな意見発表で、ボクは何回もやってるんですけど、このところ、今まで体験してきた中で、空気がいいですね。もう、みんなからの視線をこっちに向けてくれて、感じてくれて、とっても発表しやすいです。もうすぐ終わるのは

ちょっと悲しいですが、今日は、楽しい会になりました。ありがとうございました。

司会者(a) まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午後の部Ⅱを終了したいと思います。みなさん、ご協力ありがとうございました。有意義な話し合いができたと思います。今日の話し合いをきっかけに人権問題をさらに深く考え、各校に持ち帰ってください。

それでは、全体会午後の部を閉じることにします。ありがとうございましたー！このあと引き続いて、閉会行事にうつらせていただきたいと思いますので、準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。

